

# 根域空気供給機の効果確認試験

JAふらの

幕田 昌樹



①試験区圃場



②試験品設置状況



③試験区作物状況



④慣行区圃場



⑤慣行区作物状況



⑥左:試験区 右:慣行区

<b>試験目的</b>	根域空気供給機効果確認						
<b>試験作物及び品種</b>	ピーマン(さらら)						
<b>試験資材及び数量(規格)</b>	灌水資材ロッキィ/ブルー						
<b>慣行資材</b>	なし						
<b>栽培方法</b>	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">定植日</td> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">収穫日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4月15日</td> <td style="text-align: center;">5月22日</td> </tr> </table>	定植日	収穫日	4月15日	5月22日	<b>【栽植密度】</b> 畝幅: 150cm 株間: 45cm	
定植日	収穫日						
4月15日	5月22日						
<b>資材使用期間</b>	4月13日~10月22日		<b>試験区面積</b>				
	100坪						

### 試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)  
既存の灌水用バルブにつなげるだけなので問題なく設置できた。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響  
樹勢は慣行区に比べ旺盛であり、栽培終盤でも落ちづらかった。  
栽培終盤の10月に入り収量が増えた。  
霜が降りると収穫が終了するため、収穫最終日は一緒となったが、樹勢を見たところまだ収穫できそうだった。
- (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について  
**【問題点】**: 本資材により減圧し、一定期間内の灌水量は減少する。灌水時間を1.5~2倍にしなければ必要な水量を灌水することが出来なかった。
- (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について  
特に問題なし。
- (5)促成・抑制効果について  
促成効果は感じなかったが、終盤の生育は良かった。
- (6)保温効果について  
特に問題なし。
- (7)雑草・病害虫の発生について  
特に問題なし。

### モニター感想

序盤は生育がそこまで変わらなかったように見えたが、終盤の樹勢が良いように感じた。  
農協の選果が10月末までであること、霜が降りると栽培を終了させることから収穫終了は同時期であったが、ロッキィを使用したハウスは樹勢が良く、今年のように温かい年にはもう少し栽培していれば収穫できそうなピーマンはあった。  
使用してみて、樹勢の違いを感じられたので来年度は追肥の方法も含めて収量増加につながるような方法を検討してみたい。

### JA担当者の感想(南エリア生産資材課東山店 菅原 氏)

最終的に収量が増加したと聞くことが出来、良い商品であると感じている。  
しかし、使用上の注意点をしっかり説明しないと灌水不足に陥る可能性があるため、注意が必要と感じた。  
他生産者からも引き合いがあるため、今回の試験を他生産者にもPRしたいと考えている。

### 今後の使用について

継続して使用したい。  
来年度以降も継続して使用したい。  
追肥の方法等も検討し、収量増加に結び付くように取り組みたい。

### 将来希望する資材について

支柱とエスター線をワンタッチで留められるような資材。

1 栽培システム  
2 施設システム  
3 製地システム  
4 マルチ  
5 不織布  
6 育苗資材  
7 防虫ネット  
8 防虫資材  
9 ICT機器  
10 その他